

## インフォシス、テニス界のレジェンド、ラファエル・ナダルを インフォシスデジタル・イノベーションのブランドアンバサダーに起用

インド(ベンガルール)、スペイン(マジョルカ) – 2023年8月24日: [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY), は本日、世界的なテニス・スターであるラファエル・ナダルとの3年間パートナーシップを発表しました。スポーツ界のレジェンドの一人として世界的に知られるナダルは、長年にわたりテニスの厳しさの変化に合わせて自身も変化する能力も持ち合わせてきました。まさにナダルは、個人またはビジネス・リーダーが進化し、常に次のステージに進むために必要なことを完璧に体現しています。



当社は、ATP ツアー、ローラン・ギャロス全仏オープン、全豪オープン、国際テニス殿堂博物館のデジタル・イノベーション・パートナーとして、AI、クラウド、データ分析、デジタル体験を活用し、世界中のファン 10 億人のためにテニスのエコシステムを再構築してきました。選手やコーチのためのビデオや統計分析プラットフォームを開拓し、トレーニングに革命をもたらし、放送局が魅力的なコンテンツを投稿するための AI 支援ジャーナリズム・プラットフォームで試合分析を強化し、ファンが試

合に参加するための新しい方法を導入しました。テニスのエコシステムに対するインフォシスのその他イノベーションには、テニスの歴史と遺産を世界中のファンに広げるための、複合現実、ソーシャル VR、3D アートミュージアムなどのデジタル世界の探求が含まれます。最近では、インフォシスがカーボン・トラッカーを立ち上げ、ATP プレーヤーがツアー中の移動による排出量を追跡して相殺できるようにしました。これは、どのスポーツにおいても初めての持続可能な技術です。

当社とテニスとのパートナーシップは、世界中のコミュニティにも広がっています。その良い例が STEM（科学、技術、工学、数学）教育であり、テニス・オーストラリアとともに、幼い子供たちが STEM 研究への理解を深めることができるようテニスという体験を通して魅力的な教育を行っています。

**ラファエル・ナダル氏は**、「インフォシスは、テニスの経験を時代に合わせて進化させるだけでなく、地域社会の人々が明るい未来の一員となれるよう力を与えることに取り組んでいます。そんなインフォシスと緊密に協力しあうことをとても嬉しく思っています。インフォシスが業界を超えたデジタルの専門知識をグローバルなテニス・エコシステムにもたらしたことを大変評価しています。インフォシスは、世界中のファン 10 億人のテニス体験を変え、数年前には夢見ることしかできなかったアナリティクスによって、ツアーに参加するすべてのプレーヤーに真の力を与えました。また、インフォシスがコートの外にもたらしているインパクト、つまり人々や企業、地域社会に次の機会を創出していることに、私は深く感銘を受けています。社会的利益を生み出すという共通の志が、私たちの握手を真に意味のあるものに行っているのだと思います」と述べています。

インフォシスのブランドアンバサダーであるラファエル・ナダルが、[インフォシスがテニスをどのように変えたか](#)について語ります。これを記念して、インフォシスとナダルのコーチングチームは、AI を活用した試合分析ツールを開発することを発表しました。このパーソナライズされたツールは、ナダルのコーチングチームがリアルタイムで利用できるようになり、ナダルがツアーに復帰した際には、ライブマッチのインサイトと以前の試合の履歴データを同時に追跡できるようになる予定です。

**インフォシスの最高経営責任者兼マネージング・ディレクターであるサリル・パレク氏は**、「世界で最も尊敬されるアスリートの一人であり、人道主義者でもあるラファをインフォシスのアンバサダーに迎えることができ、光栄です。彼は、常に進化し、決してあきらめず、最大限の献身と決意をもって、どんな状況でもベストを尽くすという精神を体現している人です」と述べています。

このパートナーシップについて詳しくは [www.infosys.com/championsevolve](http://www.infosys.com/championsevolve) をご覧ください。

## インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。30 万人以上の従業員が、人々や企業、コミュニティの可能性を最大限に引き出し、次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムと運営の管理経験を持ち、クラウドを活用したデジタルトランスフォーメーションに乗るクライアントを 50 以上の国で専門的にサポートしています。AI によるコアを提供し、アジャイルなデジタルを規模化してビジネスを強化し、常に学習し続けることで持続的な改善を推進するために、デジタルスキルや知識、アイデアをイノベーションエコシステムから転送します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で繁栄する、適切に統治され、環境に配慮した組織であることに深い責任を感じています。

[www.infosys.com](http://www.infosys.com) を訪れて、Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

## セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2022 年会計年度（2023 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

## お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)